2013年10月1日以降補償開始契約用

Diners Club INTERNATIONAL

citi

ダイナースクラブ会員・シティカード会員の皆様へ

AIU海外旅行保険のご案内

お申し込みは簡単	充実の長期滞在プラン	ポイントプログラム
お申し込みは 電話1本でとても簡単	ご要望の多かった長期滞在プランを 充実させました	保険料はポイントプログラムの 対象となります

お問い合わせ・お申し込み先
AIU・シティカードジャパン旅行保険デスク
0120-917-005
［営業時間 午前10時～午後5時
（土・日・祝日・年末年始を除く）］

取扱代理店 **シティカードジャパン株式会社**
〒104-6035 東京都中央区晴海1丁目8番10号トリトンスクエアX棟
Tel: 0120-938-766【営業時間 午前10時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）】

引受保険会社 **AIU損害保険株式会社**
AIU・シティカードジャパン 旅行保険デスク
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階 http://www.aiu.co.jp

保存版 2013年8月版

■告知義務・通知義務について

お申し込みの際、お引受け・保険料を決定するためにお申し込み時に弊社がお伺いする事項（告知事項）については、事実を正確に告知いただく「告知義務」があります。また、ご契約いただいた後も、保険証券記載の事項に変更が生じたときは、保険会社に通知いただく「通知義務」があります。故意または重大な過失により事実を告知されなかったり事実と異なる告知をされますと「告知義務違反」として、また、変更の生じた事実を遅滞なく通知されなかった場合は「通知義務違反」として、保険金をお支払いできないことやご契約を解除させていただくことがありますので、くれぐれもご注意ください。

■事故の通知について

この保険の対象になる事故が発生した場合には、事故の発生の日から30日以内にAIU事故受付専用ダイヤルまでご連絡ください。正当な理由がなくご通知がない場合、それによって弊社が被った損害の額を差し引いて保険金をお支払いすることがあります。賠償事故が発生した場合も、事故の発生の日から30日以内にご連絡のうえ、その後の手続きにつきご相談ください。示談金や賠償金をあらかじめ弊社と相談されずに支払われることのないようにご注意ください。
なお、盗難事故の場合は、ただちに所轄の警察署へ届出をしてください。

●このパンフレットは保険商品の概要をご説明したものです。詳細につきましては、AIU・シティカードジャパン旅行保険デスクにお問い合わせください。
●ご契約に際しましては、事前に、重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）を必ずご覧ください。
●弊社の損害保険募集人は、保険契約の締結の代理権を有しています。

引受保険会社

AIU損害保険株式会社

〒163-0814　東京都新宿区西新宿2-4-1　新宿NSビル14階
http://www.aiu.co.jp

お問い合わせ・お申し込みは

AIU・シティカードジャパン旅行保険デスク
0120-917-005（通話料無料）
午前10時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）

観光	留学	出張	駐在	その他

B91-251（B-002887　2015-08）　8-13　3M　（TF）

ごあいさつ

ダイナースクラブ会員・シティカード会員の皆様へ

AIU保険会社から電話でお申し込みいただける海外旅行保険のご案内です。

この商品は会員様およびそのご家族様であれば、海外旅行や海外出張・ご留学時の

さまざまなリスクをカバーしたセットプランにお電話で簡単にお申し込みいただけます。

さらに、カードでお支払いされた保険料は、通常のご利用金額と同様に

ポイントプログラムの対象となります。

お申し込みはお手元にカードをご用意のうえ、パンフレット表紙の電話番号へご連絡ください。

AIU・シティカードジャパン旅行保険デスクのオペレーターが対応させていただきます。

大きな安心を、お電話一本でお申し込みいただける本商品をぜひご活用ください。

4つの安心　AIUなら、さまざまなリスクを幅広くカバー。

無制限

もう自己負担の心配はありません。
治療・救援費用を無制限*1に補償するインフィニティプラン

*1 無制限とは、治療・救援費用補償特約の保険金額（支払限度額）を無制限とすることであり、治療・救援費用を終身補償するものではありません。

24時間対応

万一の際には、24時間日本語でスピーディに対応。

キャッシュレス メディカル サービス

米国を中心に世界55万カ所以上の医療機関でその場で費用を
自己負担することなく治療を受けていただけるキャッシュレス・
メディカルサービスを提供。

持病・既往症への補償

31日までのプランなら[持病・既往症]に対しても、
疾病応急治療・救援費用*2を補償。（300万円限度）

*2 旅行前に渡航先の病院または診療所で診察の予約または入院の手配などが行われていた場合や、温泉療法、はり、灸、カイロプラクティック、整体、リハビリテーションなどは、保険金をお支払いできません。

保険の概要

AIUの海外旅行保険は
さまざまなリスクを幅広くカバーし、
海外旅行に行かれるお客様の不安を解消します。

AIUには、実際このような海外での事故が報告されています。

マラリアにかかり、現地の病院に入院する。日本から家族が現地に駆けつける。

約1,460万円
治療・救援費用

ホテルへ向かう途中、急に歩行困難になり、現地で治療を受け、看護師同行のうえ日本へ移送される。

約940万円
治療・救援費用

ホテルのバスタブの水をあふれさせてしまい、下の階が水浸しになり、カーペットの張り替え費用を請求された。

約71万円
個人賠償責任

2012年4月 AIU調べ

ご自身がケガをしたり、病気になったりした場合

傷害死亡／疾病死亡

ケガまたは病気が原因で亡くなられた

傷害後遺障害

旅行中の交通事故のケガが原因で、後遺障害が生じた

治療・救援費用

階段で転倒して骨折

盲腸で入院

ケガや病気で長期入院し、日本から家族が現地に駆けつける

保険期間31日まで

緊急歯科治療費用

旅行中に急に歯が痛くなった（注1）

保険期間31日まで

疾病応急治療・救援費用

旅先で旅行前にかかっていた病気が急激に悪化（注2）

他人にケガをさせたり、あやまって物を壊したりした場合

個人賠償責任

お湯を出しっぱなしで寝てしまい、水浸しになり、修理費を請求された

ご自身の持ち物が盗難にあったりあやまって壊したりした場合

携行品（注3）

カメラを落とし、壊してしまった

航空機の遅延など、その他の場合

New　**旅行事故緊急費用（注4）**　保険期間31日まで

航空会社に預けた手荷物が出てこない

悪天候で、搭乗予定の航空機が飛ばなかった

列車が運休したため、急きょタクシーで空港へ向かった

（注1）緊急歯科治療とは、痛みや苦痛を一時的に除去・緩和するための応急治療、義歯・歯科矯正装置の応急修理をいいます。なお、緊急歯科治療を伴わない検査、予防治療、あらかじめ予定・予測されていた治療など、保険金をお支払いできない場合があります。
（注2）旅行前に渡航先の病院または診療所で診察の予約または入院の手配などが行われていた場合など、保険金をお支払いできない場合があります。
（注3）携行品（パスポートを含みます。）の紛失または置き忘れによる損害については保険金をお支払いできません。
（注4）公的機関、交通機関、宿泊機関、医療機関または旅行会社により発生が証明される予期せぬ偶然な事故によって次の費用を負担した場合に補償の対象となります。①交通費　②宿泊施設の客室料　③食事代　④国際電話料等通信費　⑤渡航手続費　⑥渡航先での各種サービス取消料など　⑦身の回り品購入費

＊詳しくは、このパンフレットのP.9～P.11海外旅行保険の概要にてご確認ください。

ダイナースクラブカード、シティカードをご利用ください

AIUの海外旅行保険は
ダイナースクラブ会員様・シティカード会員様のご旅行を
ご出発からご帰宅まで強力にサポートさせていただきます。

おトク

保険料もポイントプログラムの対象
保険料はダイナースクラブカードまたはシティカードでのお支払いとなりますので、
面倒な手間は一切なく、通常のご利用金額と同様にポイントプログラムの対象となります。

充実

充実の長期滞在プラン
ダイナースクラブ会員様、シティカード会員様に需要が多い駐在や留学など長期滞在プランの補償を充実させました。(治療救援費用無制限プランもあります。)

選べる

多彩な加入プラン
多彩な加入プランで短期のご旅行から長期の出張まで、さまざまなニーズに対応いたします。

便利

出発当日までお申し込み可能
出発当日でもご加入いただけますので急な出張にもお電話一本で対応いたします。

ご注意

1.旅行の目的、告知内容、年令などによっては、お引き受けできない場合があります。
2.「キューバ」が渡航先に含まれる場合は、お引き受けできません。また、出発後の予定の変更により「キューバ」に渡航された場合など、いかなる場合でも、「キューバ」で生じた事故については保険金をお支払いすることができません。
3.申込人と旅行者(被保険者)が異なる場合は、傷害死亡保険金額および疾病死亡保険金額は、同一の補償内容を提供する他の保険契約や共済とそれぞれ合算して1,000万円を上限とさせていただきます。
4.この保険は海外旅行、たとえば観光旅行などの目的をもって住居を出発してから住居に帰着するまでの損害を補償の対象としています。したがって、次のような場合にはお引き受けできませんので、予めご了承ください。(ご加入に際し、確認のためパスポートの提示が必要となることがあります。)
　●永住権を持っている国へ居住する目的で渡航される場合(アメリカのグリーンカード・ミリタリーID保持者など)
　●帰国の予定が不明確な場合
　●渡航後(旅行期間の途中から)の加入をご希望の場合 など。
5.ご加入に際し、留学の場合は「留学先の学校名」など、駐在の場合は「派遣先や駐在先都市名」などを確認させていただきます。ビザ・パスポートの確認が必要となることがあります。

お申し込み方法

1 ご契約タイプをお決めください。
(31日までのタイプはP.5～6、31日以上のタイプはP.7～8にございます。)

▼

2 「重要事項説明書」(P.12～)をお読みください。

▼

3 ダイナースクラブカードまたはシティカードをお手元にご用意のうえ、会員ご本人様・家族会員様よりお電話ください。

AIU・シティカードジャパン
旅行保険デスク
0120-917-005 [通話料無　料]
受付時間／午前10時～午後5時(携帯電話からもご利用いただけます)
土・日・祝日・年末年始を除く

カード番号、お名前、ご住所、ご希望タイプ、旅行期間、告知事項など契約に関する内容を伺います。
◆伺った事項の再確認のため音声録音させていただきます

▼

4 ご加入手続き完了
お申し込みいただいた翌営業日に、ハンドブック(ご契約のしおり)・加入者証を発送いたします。

ご契約時に内容をご登録させていただきますので、次回以降のお申し込みはさらに簡単になります。

*ご加入いただける方(被保険者)は、ダイナースクラブ会員またはシティカード会員ご本人様・家族会員様と同居の親族・別居の未婚のお子様となります。

インターネットからのお申し込みもおすすめです。
インターネットでのご契約なら、補償をオーダーメイドできるフリープランも選べます。
下記URL(会員専用サイト)にアクセスしてください。

〈ダイナースクラブ会員様は〉 **http://www.ccj-diners-insurance.jp/**
〈シティカード会員様は〉 **http://www.ccj-citicards-insurance.jp/**

上記サイト内の 旅行カテゴリからAIU保険会社 海外旅行保険 オンライン契約サービスをご確認ください。

ご注意:インターネットでのご契約のプランは、当パンフレットのものとは別プランとなります。

カードに関するお問い合わせは下記まで [受付:24時間／年中無休]

〈ダイナースクラブカード〉
0120-074-024

〈シティカード〉
0120-003-081
携帯電話はこちらから　045-330-6900

ご注意：キャッシュバックカード会員の方は、本保険のお申し込みはできませんのでご了承ください。

ご契約プラン一覧表 保険期間31日までの方 海外旅行のトラブルを幅 広くサポートいたします。

・ご年令は旅行出発日時点での満年令になります。
・ご家族が被保険者（保険の対象となる方）の場合、ご加入いただけるご契約タイプは
旅行目的が観光・出張等であれば『A91』『A11』『11P』、留学であれば『53B』『51B』のいずれかになります。

2013年10月1日現在

旅行の目的		観光・出張など						短期留学	
ご加入可能年令		15才～69才までの方			0才～69才までの方		70才～85才までの方	15才～69才までの方	0才～69才までの方
契約タイプ		96R	94R	A93	A91	A11	11P	53B	51B
傷害死亡		1億円	5,000万円	3,000万円	1,000万円	1,000万円	1,000万円	3,000万円	1,000万円
傷害後遺障害（後遺障害の程度に応じて）		300万～1億円	150万～5,000万円	90万～3,000万円	30万～1,000万円	30万～1,000万円	30万～1,000万円	90万～3,000万円	30万～1,000万円
治療・救援費用（支払限度額/1事故・1疾病あたり）		無制限※1	無制限※1	無制限※1	無制限※1	2,000万円	1,000万円	2,000万円	2,000万円
		疾病応急治療・救援費用300万円限度※2						疾病応急治療・救援費用300万円限度※2	
緊急歯科治療費用※3（支払限度額）		10万円	10万円	10万円	10万円	10万円	10万円	10万円	10万円
疾病死亡		3,000万円	3,000万円	3,000万円	1,000万円	1,000万円	補償なし	1,000万円	500万円
個人賠償責任（支払限度額/1事故あたり）		1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円
携行品※4（携行品1つあたり10万円限度）（乗車券・航空券などの場合は5万円限度）		30万円	30万円	30万円	30万円	20万円	10万円	30万円	20万円
旅行事故緊急費用※5（支払限度額）		5万円	5万円	5万円	5万円	5万円	5万円	5万円	5万円
保険期間	1日（0泊1日）まで	7,120円	5,270円	4,530円	2,950円	2,640円	2,690円	3,440円	2,430円
	2日（1泊2日）まで	8,020円	6,120円	5,360円	3,740円	3,280円	3,710円	4,100円	3,070円
	3日（2泊3日）まで	8,870円	6,870円	6,070円	4,390円	3,790円	4,580円	4,670円	3,570円
	4日（3泊4日）まで	9,500円	7,450円	6,630円	4,930円	4,230円	5,350円	5,140円	4,010円
	5日（4泊5日）まで	10,460円	8,360円	7,520円	5,780円	4,950円	6,360円	5,910円	4,730円
	6日（5泊6日）まで	11,400円	9,200円	8,320円	6,520円	5,570円	7,260円	6,590円	5,340円
	7日（6泊7日）まで	12,440円	10,040円	9,080円	7,180円	6,110円	8,080円	7,230円	5,880円
	8日（7泊8日）まで	13,280円	10,780円	9,780円	7,820円	6,630円	8,910円	7,810円	6,390円
	9日（8泊9日）まで	13,950円	11,400円	10,380円	8,380円	7,100円	9,670円	8,300円	6,860円
	10日（9泊10日）まで	14,770円	12,070円	10,990円	8,930円	7,540円	10,480円	8,810円	7,300円
	11日（10泊11日）まで	15,520円	12,720円	11,600円	9,480円	8,000円	11,270円	9,320円	7,750円
	12日（11泊12日）まで	16,380円	13,430円	12,250円	10,030円	8,460円	12,050円	9,840円	8,200円
	13日（12泊13日）まで	17,090円	14,090円	12,890円	10,630円	8,940円	12,830円	10,360円	8,680円
	14日（13泊14日）まで	17,650円	14,600円	13,380円	11,100円	9,330円	13,570円	10,780円	9,070円
	15日（14泊15日）まで	18,260円	15,110円	13,850円	11,510円	9,670円	14,250円	11,160円	9,400円
	17日（16泊17日）まで	19,440円	16,040円	14,680円	12,200円	10,230円	15,340円	11,830円	9,950円
	19日（18泊19日）まで	20,860円	17,260円	15,820円	13,260円	11,110円	16,800円	12,800円	10,830円
	21日（20泊21日）まで	22,140円	18,440円	16,960円	14,320円	11,960円	18,220円	13,720円	11,670円
	23日（22泊23日）まで	23,630円	19,680円	18,100円	15,300円	12,770円	19,490円	14,630円	12,470円
	25日（24泊25日）まで	24,930円	20,830円	19,190円	16,290円	13,570円	20,790円	15,510円	13,260円
	27日（26泊27日）まで	26,440円	22,140円	20,420円	17,420円	14,520円	22,190円	16,550円	14,200円
	29日（28泊29日）まで	27,960円	23,410円	21,590円	18,430円	15,340円	23,470円	17,490円	15,010円
	31日（30泊31日）まで	29,530円	24,730円	22,810円	19,530円	16,250円	24,900円	18,510円	15,910円

重　要

申込人と旅行者（被保険者）が異なる場合か、旅行者（被保険者）が15才未満（旅行出発日時点）の場合は、傷害死亡保険金額および疾病死亡保険金額が1,000万円以下(*)のご契約タイプからお選びください。

＊同一の補償内容を提供する他の保険契約や共済があるときは、傷害死亡保険金額および疾病死亡保険金額は、それぞれ合算で1,000万円を上限とさせていただきます（旅行の目的が留学の場合は3,000万円）。

※1：無制限とは、治療・救援費用補償特約の保険金額（支払限度額）を無制限とすることであり、治療・救援費用を終身補償するものではありません。
※2：疾病応急治療・救援費用は保険期間31日までのご契約に限り、補償の対象となります。
※3：緊急歯科治療費用は、保険期間31日までのご契約に限り補償の対象となります。ご旅行中に緊急に要した歯科治療費用に限り、10万円をお支払いの限度とします。
※4：携行品損害保険金額が30万円を超える契約の場合は、盗難、強盗および航空機寄託手荷物不着による損害については、30万円を保険期間中の限度とします。
※5：旅行行程中の予期せぬ偶然な事故により負担を余儀なくされた、交通費、宿泊施設の客室料、食事代、通信費、渡航手続費、および渡航先で予定していたサービスの取消料等について、保険期間中合計で5万円をお支払いの限度とします。ただし、食事代については5千円を保険期間中の限度とします。また、身の回り品購入費は10万円を保険期間中の限度とします。

ご注意

■保険期間は、ご出発日からご帰国までの日数でお選びください。
（例:6月1日出発で6月6日帰国の場合、保険期間は「6日（5泊6日）まで」となります。）
■「キューバ」が渡航先に含まれる場合は、お引き受けできません。また、出発後の予定の変更により「キューバ」に渡航された場合など、いかなる場合でも、「キューバ」で生じた事故については保険金をお支払いすることができません。
■「携行品」では、身の回り品が居住施設（寮・ホームステイ先を除きます）にある場合は保険の対象に含まれません。また、家財道具も携行品ではありませんので保険の対象に含まれません。さらに、「個人賠償責任」では、建物またはマンションの戸室全体を賃借している場合のその部屋に与えた損害もお支払いできません。
■この保険の最長保険期間は1年です。保険契約の延長・更新の場合には、満期前に必ずお手続きください。満期を過ぎてしまいますと、被保険者ご本人様が海外に滞在したままでの延長・更新はできませんのでご注意ください。延長・更新手続き（申込み、保険料のお払込みなど）は、被保険者ご本人様の委任を受けた日本における代理の方（ご家族・知人など）を介して、取扱代理店または弊社へお申し出ください。ただし、延長・更新時の保険金請求内容・告知内容により、ご契約の延長・更新ができない場合がありますので、予めご了承ください。
■海外旅行保険は、例えば観光旅行、留学、駐在等の目的をもって住居を出発してから住居に帰着するまでの損害を補償の対象としています。したがって、次のような場合にはお引き受けできませんので、予めご了承ください。（ご加入に際し、確認のためパスポートの提示が必要となることがあります）
●永住権を持っている国へ居住する目的で渡航する場合（アメリカのグリーンカード・ミリタリーID保持者など）
●帰国の予定が不明確な場合
●渡航後（旅行期間の途中から）の加入をご希望の場合　など

ご契約プラン一覧表 保険期間31日を超える方 海外赴任や留学など、 長期の海外生活を幅広くサポートいたします。

・旅行目的が「観光」「その他」の場合、保険期間は6か月までとなります。(延長はできません)
・ご年令は旅行出発日時点での満年令になります。
・ご家族が被保険者(保険の対象となる方)の場合、ご加入いただけるご契約タイプは、
旅行目的が観光・出張等であれば『B91』『B11』『11W』、留学であれば『53E』『51E』のいずれかになります。
・「現症・既往症(※1)」のない方がご加入いただけます。

2013年10月1日現在

旅行の目的	観光(保険期間6か月までのお引き受けとなります)／出張・駐在 など						留学	
ご加入可能年令	15才～69才までの方			0才～69才までの方		70才～80才までの方	15才～69才までの方	0才～69才までの方
契約タイプ	96S	94S	B93	B91	B11	11W	53E	51E
傷害死亡	1億円	5,000万円	3,000万円	1,000万円	1,000万円	1,000万円	3,000万円	1,000万円
傷害後遺障害 (後遺障害の程度に応じて)	300万～ 1億円	150万～ 5,000万円	90万～ 3,000万円	30万～ 1,000万円	30万～ 1,000万円	30万～ 1,000万円	90万～ 3,000万円	30万～ 1,000万円
治療・救援費用 (支払限度額/1事故・1疾病あたり)	無制限※2	無制限※2	無制限※2	無制限※2	2,000万円	1,000万円	2,000万円	2,000万円
疾病死亡	3,000万円	3,000万円	3,000万円	1,000万円	1,000万円	補償なし	2,000万円	1,000万円
個人賠償責任 (支払限度額/1事故あたり)	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円
携行品※3 (携行品1つあたり10万円限度) (乗車券・航空券などの場合は5万円限度)	30万円	30万円	30万円	30万円	20万円	10万円	30万円	30万円
航空機寄託手荷物遅延※4 (支払限度額)	10万円	10万円	10万円	10万円	10万円	10万円	10万円	10万円
航空機遅延費用※5 (支払限度額)	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円
保険期間 34日(33泊34日)まで	30,910円	24,610円	22,090円	18,150円	14,730円	22,920円	18,320円	15,090円
39日(38泊39日)まで	32,900円	26,150円	23,450円	19,130円	15,550円	23,870円	19,460円	15,950円
46日(45泊46日)まで	38,790円	31,490円	28,570円	23,630円	19,070円	28,300円	23,430円	19,500円
53日(52泊53日)まで	45,870円	37,770円	34,530円	28,810円	23,110円	33,300円	28,050円	23,570円
2か月まで	52,900円	43,650円	39,950円	33,250円	26,640円	39,630円	32,330円	27,130円
3か月まで	72,660円	60,910円	56,210円	47,250円	37,630円	54,680円	45,070円	38,240円
4か月まで	96,400円	81,950円	76,170円	64,210円	50,970円	77,010円	60,590円	51,720円
5か月まで	127,420円	108,520円	100,960円	85,220円	67,440円	101,090円	79,960円	68,310円
6か月まで	149,570円	127,120円	118,140円	99,200円	78,540円	124,240円	93,490円	79,530円
旅行の目的が「観光」・「その他」の場合、保険期間は最長6か月までのお引き受けとなります。							―――	
7か月まで	174,400円	148,950円	138,770円	116,890円	92,410円	146,480円	109,550円	93,520円
8か月まで	201,100円	172,050円	160,430円	135,270円	106,840円	169,630円	126,460円	108,070円
9か月まで	227,590円	194,940円	181,880円	153,480円	121,150円	192,550円	143,220円	122,490円
10か月まで	254,520円	218,220円	203,700円	171,980円	135,670円	215,820円	160,260円	137,140円
11か月まで	280,510円	240,910円	225,070円	190,230円	149,990円	238,840円	176,910円	151,570円
1年まで	306,860円	263,560円	246,240円	208,120円	164,050円	261,260円	193,480円	165,760円

※旅行の目的が「観光」・「その他」の時はお引き受けできません。

重 要

申込人と旅行者(被保険者)が異なる場合か、旅行者(被保険者)が15才未満(旅行出発日時点)の場合は、傷害死亡保険金額および疾病死亡保険金額が1,000万円以下(*)のご契約タイプからお選びください。

*同一の補償内容を提供する他の保険契約や共済があるときは、傷害死亡保険金額および疾病死亡保険金額は、それぞれ合算で1,000万円を上限とさせていただきます(旅行の目的が留学の場合は3,000万円)。

※1:「現症・既往症」とは、次の場合をいいます。
・現在、ケガや病気で医師の治療、投薬を受けているか、または医師から精密検査、定期的な診察、治療、投薬等のいずれかをすすめられている。
・これまで継続して1か月以上入院したこと、または脳疾患、心疾患、ガン等の重傷病を患ったことがある。
※2:無制限とは、治療・救援費用補償特約の保険金額(支払限度額)を無制限とすることであり、治療・救援費用を終身補償するものではありません。
※3:携行品損害保険金額が30万円を超える契約の場合は、盗難、強盗および航空機寄託手荷物不着による損害については、30万円を保険期間中の限度とします。
※4:1回の寄託手荷物遅延につき、10万円をお支払いの限度とします。
※5:1回の出発遅延など、搭乗不能または着陸地変更につき、2万円をお支払いの限度とします。

ご注意

■保険期間は、出張・留学などの目的をもって住居を出発してから住居に帰着するまで(出張・留学予定期間)とします。
(例:1月1日出発で6月30日帰国の場合、保険期間は「6か月まで」となります。)
■「キューバ」が渡航先に含まれる場合は、お引き受けできません。また、出発後の予定の変更により「キューバ」に渡航された場合など、いかなる場合でも、「キューバ」で生じた事故については保険金をお支払いすることができません。
■「携行品」では、身の回り品が居住施設(寮・ホームステイ先を除きます)にある場合は保険の対象に含まれません。また、家財道具も携行品ではありませんので保険の対象に含まれません。さらに、「個人賠償責任」では、建物またはマンションの戸室全体を賃借している場合のその部屋に与えた損害もお支払いできません。
■この保険の最長保険期間は1年です。保険契約の延長・更新の場合には、満期前に必ずお手続きください。満期を過ぎてしまいますと、被保険者ご本人様が海外に滞在したままでの延長・更新はできませんのでご注意ください。延長・更新手続き(申込み、保険料のお払込みなど)は、被保険者ご本人様の委任を受けた日本における代理の方(ご家族・知人など)を介して、取扱代理店または弊社へお申し出ください。ただし、延長・更新時の保険金請求内容・告知内容により、ご契約の延長・更新ができない場合がありますので、予めご了承ください。
■海外旅行保険は、例えば観光旅行、留学、駐在等の目的をもって住居を出発してから住居に帰着するまでの損害を補償の対象としています。したがって、次のような場合にはお引き受けできませんので、予めご了承ください。(ご加入に際し、確認のためパスポートの提示が必要となることがあります。)
●永住権を持っている国へ居住する目的で渡航する場合(アメリカのグリーンカード・ミリタリーID保持者など)
●帰国の予定が不明確な場合
●渡航後(旅行期間の途中から)の加入をご希望の場合 など

海外旅行保険の概要（裏表紙の「用語のご説明」も一緒にご覧ください。）

●保険期間（保険のご契約期間）が旅行期間と異なる場合、下記「旅行行程中」を「保険期間と旅行期間が重なる間」と読みかえます。

傷害死亡

保険金をお支払いする場合	旅行行程中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガが原因で事故の日からその日を含めて180日以内に死亡したとき
お支払いする保険金	傷害死亡保険金額の全額を被保険者（保険の対象となる方）の法定相続人にお支払いします。死亡保険金受取人を指定された場合には指定された方にお支払いします。 注 同一のケガにより、すでに支払われた傷害後遺障害保険金がある場合は、下記の額をお支払いします。 お支払い額＝傷害死亡保険金額－すでに支払われた傷害後遺障害保険金の額
保険金をお支払いできない主な場合	次のような事由により生じたケガ ○保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき者の故意または重大な過失 ○被保険者の自殺行為、犯罪行為または闘争行為 ○脳疾患、疾病、心神喪失 ○妊娠、出産、早産、流産 ○被保険者による自動車などの酒気帯び運転、無資格運転中の事故 ○戦争、革命などの事変 ○放射線照射、放射能汚染 ○**旅行行程開始前または終了後に発生したケガ** …など

傷害後遺障害（区分表型）（後遺障害保険金の支払対象拡大に関する特約セット）

保険金をお支払いする場合	旅行行程中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガが原因で事故の日からその日を含めて180日以内に身体に後遺障害が生じたとき
お支払いする保険金	後遺障害の程度に応じて、傷害後遺障害保険金額の3%～100%をお支払いします。 注 保険期間（保険のご契約期間）を通じて合算し、傷害後遺障害保険金額が限度となります。
保険金をお支払いできない主な場合	①次のような事由により生じたケガ ○保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき者の故意または重大な過失 ○被保険者の自殺行為、犯罪行為または闘争行為 ○脳疾患、疾病、心神喪失 ○妊娠、出産、早産、流産 ○被保険者による自動車などの酒気帯び運転、無資格運転中の事故 ○戦争、革命などの事変 ○放射線照射、放射能汚染 ○**旅行行程開始前または終了後に発生したケガ** ②むちうち症、腰痛その他の症状で医学的他覚所見のないもの …など

治療・救援費用（救援者費用等追加補償特約セット）（妊娠初期の症状に対する保険金支払責任の変更に関する特約セット〈保険期間31日までの契約にセットされます。〉）

保険金をお支払いする場合	●傷害治療費用部分 旅行行程中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガが原因で、医師の治療を受けたとき ●疾病治療費用部分 ①「旅行行程中に発病した病気」または「旅行行程終了後72時間以内に発病した病気」（※1）により、旅行中または旅行行程終了後72時間を経過するまでに医師の治療を開始したとき ②旅行行程中に感染した感染症（※2）により旅行行程が終了した日からその日を含めて30日を経過するまでに医師の治療を開始したとき ●救援費用部分 ①○旅行行程中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガが原因で事故の日からその日を含めて180日以内に死亡したとき。○旅行行程中に病気または妊娠、出産、早産、流産を原因として死亡したとき ○旅行行程中に発病した病気（旅行行程中に医師の治療を開始しその後も引き続き医師の治療を受けていた場合に限ります。）が原因で旅行行程が終了した日からその日を含めて30日以内に死亡したとき ②旅行行程中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガまたは旅行行程中に発病した病気（旅行行程中に医師の治療を開始した場合に限ります。ただし、保険期間（保険のご契約期間）が31日までの契約に限り、「疾病に関する応急治療・救援費用補償特約」で補償できる場合には、お支払いの対象となります。）が原因で継続して3日以上入院（※3）したとき。 ③旅行行程中に搭乗中の航空機もしくは船舶が行方不明もしくは遭難したとき、旅行行程中の急激かつ偶然な外来の事故により被保険者の生死が確認できないとき、または捜索・救助活動が必要なとき ④旅行行程中に誘拐されたとき、または行方不明になったとき …など （※1）その原因が旅行行程開始前または終了後に発生したものを除きます。ただし、保険期間（保険のご契約期間）が31日までの契約に限り、「疾病に関する応急治療・救援費用補償特約」で補償できる場合には、お支払いの対象となります。 （※2）感染症とは、コレラ、ペスト、天然痘、発疹チフス、ラッサ熱、マラリア、回帰熱、黄熱、重症急性呼吸器症候群、エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、マールブルグ病、コクシジオイデス症、デング熱、顎口虫、ウエストナイル熱、リッサウイルス感染症、腎症候性出血熱、ハンタウイルス肺症候群、高病原性鳥インフルエンザ、ニパウイルス感染症、赤痢、ダニ媒介性脳炎、腸チフス、リフトバレー熱、レプトスピラ症をいいます。 （※3）医師による治療が必要な場合において、自宅などでの治療が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師の管理下において治療に専念することをいいます。
お支払いする保険金	●傷害・疾病治療費用部分 1回のケガ、病気につき、被保険者が現実に支出した費用で、社会通念上妥当な次の費用を治療・救援費用保険金額の範囲内でお支払いします。ケガの場合は事故の日からその日を含めて180日以内、病気の場合は治療開始日からその日を含めて180日以内に要した費用に限ります。 ①診療費関係（保険金請求のために必要な医師の診断書料を含みます。）、緊急移送費、ホテル客室料（治療を要する場合において医師の指示によりホテルで静養するときのホテル客室料）、入院・通院のための交通費および通訳雇入費で治療のために現実に支出した金額。 ②入院により必要となった国際電話料や身の回り品購入費のうち現実に支出した金額。ただし、身の回り品購入費は5万円、合算で20万円を限度とします。 ③医師の治療を受けた結果、旅行行程を離脱した場合、当初の旅行行程に復帰または直接帰国するために現実に支出した交通費・宿泊費（払戻しを受けた金額または負担することを予定していた金額があるときは、その金額を差し引きます。） ④法令に基づき、公的機関より消毒を命じられた場合の消毒費用 注1 日本国内で治療を受けられ、健康保険や労災保険などから支払いがなされ被保険者が支払わなくてもよい場合、または海外においても同様の制度がある場合、その制度により被保険者が診療機関に支払わなくてもよい部分を差し引いてお支払いします。 注2 被保険者が健康診断または予防接種を受けたときに支出した費用に対しては、保険金をお支払いできません。 ●救援費用部分 保険契約者、被保険者またはその親族が実際に支出した次の費用をお支払いします。ただし、治療・救援費用保険金額をもって1回の事故などの支払いの限度とします。（「保険金をお支払いする場合」の④の場合は、300万円上限） ①捜索救助費用 ②現地までの航空運賃などの往復運賃（救援者3名分まで） ③現地および現地までの行程におけるホテル客室料（救援者3名かつ1名につき14日分まで） ④現地からの移送費用 ⑤遺体処理費用（100万円まで）（ただし、花代、読経代および式場費などの葬儀費用など、遺体の処理とは直接関係がない費用は含みません。） ⑥諸雑費（救援者の渡航手続費、現地での交通費・通信費など合計で20万円まで）
保険金をお支払いできない主な場合	①次のような事由により生じた費用 ○保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき者の故意または重大な過失 ○被保険者の自殺行為、犯罪行為または闘争行為（自殺行為を行い、その行為の日からその日を含めて180日以内に死亡した場合の救援費用を除きます。） ○被保険者による自動車などの酒気帯び運転、無資格運転中の事故（死亡した場合の救援費用を除きます。） ○戦争、革命などの事変 ○放射線照射、放射能汚染 ②むちうち症、腰痛その他の症状で医学的他覚所見のないもの ③妊娠、出産、早産、流産およびこれらに基づく病気（ただし、保険期間（保険のご契約期間）が31日までの契約に限り、「妊娠初期の症状に対する保険金支払責任の変更に関する特約」がセットされ、妊娠初期の異常により医師の治療を開始した場合にはお支払いの対象となります。ただし、妊娠満22週以後に発生したものを除きます。） ④歯科疾病（ただし、保険期間（保険のご契約期間）が31日までの契約で「緊急歯科治療費用補償特約」がセットされている場合、ご旅行中の歯科疾病症状の急激な発症・悪化については、10万円を限度に補償されます。） ⑤カイロプラクティック、鍼（はり）または灸（きゅう）による治療 …など

疾病に関する応急治療・救援費用〈保険期間31日までの契約にセットされます。〉

保険金をお支払いする場合	●疾病治療費用部分 旅行開始前に発病し医師の治療を受けたことがある病気（妊娠、出産、早産、または流産に起因する病気および歯科疾病は含みません。）が原因で、旅行行程中にその症状の急激な悪化（※1）により医師の治療を受けたとき ●救援費用部分 旅行開始前に発病し医師の治療を受けたことがある病気（妊娠、出産、早産、または流産に起因する病気および歯科疾病は含みません。）が原因で旅行行程中にその症状の急激な悪化（※1）により3日以上続けて入院（※2）したとき （※1）症状の急激な悪化とは、旅行行程中に生じることについて被保険者があらかじめ予測できず、かつ、社会通念上払うべき注意をもってしても避けられない症状の変化をいいます。 （※2）医師による治療が必要な場合において、自宅などでの治療が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師の管理下において治療に専念することをいいます。
お支払いする保険金	●疾病治療費用部分 実際に支払われた治療費などのうち社会通念上妥当な費用であり、かつ、同等の病気の発病に対して通常負担する費用に相当する金額をお支払いします。 ●救援費用部分 保険契約者、被保険者、または被保険者の親族の方が実際に支出した下記の費用で社会通念上妥当な費用であり、かつ、同等の病気の発病に伴い通常負担する費用に相当する金額をお支払いします。 ○救援者の現地までの往復航空運賃などの交通費（救援者3名分まで） ○救援者の宿泊施設の客室料（救援者3名かつ1名につき14日分まで） …など 注1 治療・救援費用の保険金額が300万円以上の場合は、1回の病気につき支払限度額が300万円となります。 注2 医師の治療を開始した日からその日を含めて30日以内に必要となった費用に限ります。また、住居（被保険者が入院した最終目的国の病院または診療所を含みます。）帰着後にかかった費用はお支払いの対象となりません。 注3 旅行行程中も支出することが予定されていた次の費用はお支払いの対象となりません。 ○透析、義手義足、人工心臓弁、ペースメーカ、人工肛門、車椅子その他器具の継続使用に関わる費用 ○インスリン注射その他薬剤の継続使用に関わる費用 注4 次の費用はお支払いの対象となりません。 ○温泉療法、熱気浴などの理学的療法の費用 ○あん摩、マッサージ、指圧、はり、灸、柔道整復、カイロプラクティックまたは整体の費用 ○運動療法、リハビリテーション、その他これらに類する理学的療法の費用 ○臓器移植などおよびそれと同様の手術などに関わる費用 ○眼鏡、コンタクトレンズもしくは補聴器の装着および調整に関わる費用または近視矯正手術その他の視力回復を目的とする処置に関わる費用 ○毛髪移植、美容上の形成手術などに関わる費用 ○不妊治療その他妊娠促進管理に関わる費用
保険金をお支払いできない主な場合	○旅行行程終了後に治療を開始した場合 ○治療または症状の緩和を目的とする旅行の場合 ○旅行開始前より、渡航先の病院または診療所で医師の治療を受けることが決定していた場合（診察の予約または入院の手配などが行われていた場合を含みます。） …など

緊急歯科治療費用〈保険期間31日までのご契約タイプにセットされます。〉

保険金をお支払いする場合	旅行行程中に生じた歯科疾病症状（※）の急激な発症・悪化により旅行行程中に歯科医師による緊急歯科治療を開始した場合 （※）装着中の義歯または歯科矯正装置に生じた異常により飲食に支障が生じる状態を含みます。 注 緊急歯科治療とは、痛みや苦痛を一時的に除去・緩和するための応急治療、義歯・歯科矯正装置の応急修理で、かつ、社会通念上妥当なものをいいます。
お支払いする保険金	被保険者が現実に支出した次の費用を、10万円を限度としてお支払いします。ただし、旅行行程中に要した費用に限ります。 ①診療費、処置費および手術費 ②薬剤費、治療材料費および医療器具使用料 ③X線検査費、諸検査費および手術室費 ④保険金請求のために必要な歯科医師の診断書費用 注 緊急歯科治療を伴わない検査、義歯の提供を含む治療、定期的な治療、予防治療、審美歯科治療、あらかじめ予定・予測されていた治療などに要した費用については保険金をお支払いできません。
保険金をお支払いできない主な場合	義歯・歯科矯正装置の欠陥、自然消耗、性質によるさび・かび・変色、キズ・塗料のはがれなどの外観上の損傷、ブラッシング、審美歯科治療、その他口腔衛生行為 …など

疾病死亡

保険金をお支払いする場合	①旅行行程中に病気により死亡したとき ②「旅行行程中に発病した病気」または「旅行行程終了後72時間以内に発病した病気」（※）により、旅行行程が終了した日からその日を含めて30日以内に死亡したとき（ただし、旅行行程終了後72時間を経過するまでに医師の治療を開始したものに限ります。） ③旅行行程中に感染した感染症（治療・救援費用●疾病治療費用部分②に記載の感染症）により旅行行程が終了した日からその日を含めて30日以内に死亡したとき。 （※）その原因が旅行行程開始前または終了後に発生したものを除きます。
お支払いする保険金	疾病死亡保険金額の全額を被保険者の法定相続人にお支払いします。死亡保険金受取人を指定された場合には指定された方にお支払いします。
保険金をお支払いできない主な場合	①次のような事由により生じた病気 ○保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき者の故意または重大な過失 ○被保険者の自殺行為、犯罪行為または闘争行為 ○戦争、革命などの事変 ○放射線照射、放射能汚染 ②妊娠、出産、早産、流産およびこれらに基づく病気 ③歯科疾病 …など

個人賠償責任

保険金をお支払いする場合	旅行行程中の偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の物（※）を壊したりして損害を与え、法律上の損害賠償責任を負ったとき （※）保険契約者または被保険者がレンタル業者より借り入れた旅行用品を含みます。
お支払いする保険金	1回の事故につき賠償責任保険金額を限度として、損害賠償金などをお支払いします。 注1 賠償金額の決定には、事前に弊社の承認を必要とします。 注2 損害の発生または拡大を防止するために必要・有益な費用、弊社の同意を得て支出した訴訟費用・弁護士報酬などに対しても保険金をお支払いできる場合があります。 注3 被保険者が責任無能力者の場合で、その責任無能力者の行為により親権者などが法律上の損害賠償責任を負った場合もお支払いの対象になります。
保険金をお支払いできない主な場合	①次のような事由により生じた損害 ○保険契約者または被保険者の故意 ○戦争、革命などの事変 ○放射線照射、放射能汚染 ②次のような損害賠償責任を負ったことにより被った損害 ○被保険者の職業上の行為に関する損害賠償責任 ○同居の親族に対する損害賠償責任 ○自動車（※1）、船（※2）、航空機、銃器などの所有、使用、管理に起因する損害賠償責任 ○受託物に対する損害賠償責任（他人から借りた物を含みます。） ○汚染物質に起因する損害賠償責任 ○心神喪失に起因する損害賠償責任 ○罰金、違約金または懲罰的賠償額に対する損害賠償責任 …など （※1）レンタカーを含みます。なお、自転車、ゴルフ場の乗用カート、レジャー目的で使用中のスノーモービルなどはお支払いの対象となります。 （※2）ヨット、水上オートバイはお支払いの対象となります。

携行品

保険金をお支払いする場合	旅行行程中に携行品（※）が盗難・破損・火災などの偶然な事故にあって損害を受けたとき。 （※）携行品とは、被保険者が所有または旅行開始前にその旅行のために他人から無償で借り、かつ携行するカメラ、カバン、衣類などの身の回り品をいいます。ただし、現金、小切手、クレジットカード、定期券、義歯、コンタクトレンズ、各種書類、データ・ソフトウェアなどの無体物、サーフィンなどの運動を行う為の用具、仕事のためだけに使用する物、居住施設内（一戸建住宅の場合はその敷地内）の物、別送品などは含みません。
お支払いする保険金	携行品1つ（1点、1組または1対）あたり10万円を限度として損害額（※）をお支払いします。 （※）損害額とは、修理費または購入費から減価償却した金額のいずれか低い方をいいます。 注1 乗車券・航空券などは、事故後に支出した費用で合計5万円を限度とします。 注2 お支払いする保険金の総額は、携行品損害保険金額をもって保険期間（保険のご契約期間）中の限度とします。ただし、携行品損害保険金額が30万円を超える契約の場合は、盗難、強盗および航空機寄託手荷物不着による損害については、30万円を保険期間中の限度とします。 注3 旅券については、その再発給または渡航書発給の費用（領事官に納付した発給手数料、事故地から最寄の在外公館所在地までの交通費、および同地におけるホテル客室料などをいいます。）を1回の事故につき5万円を限度としてお支払いします。 注4 自動車または原動機付自転車の運転免許証については、国または都道府県に納付した再発給手数料を損害額とします。
保険金をお支払いできない主な場合	次のような事由により生じた損害 ◎**携行品の置き忘れ、紛失** ◎保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき者の故意または重大な過失 ◎被保険者による自動車などの酒気帯び運転、無資格運転中の事故 ◎戦争、革命などの事変 ◎放射線照射、放射能汚染 ◎没収、破壊など、携行品に対する国や公共団体の公権力の行使（火災消防・避難処置、空港などの安全確認検査での錠の破壊を除きます。） ◎携行品の欠陥または自然の消耗 …など 注 レンタル業者から借りた旅行用品または生活用品に損害が生じレンタル業者から損害賠償を請求された場合は、前記「個人賠償責任」で保険金をお支払いすることができます。

旅行事故緊急費用〈保険期間31日までのご契約タイプにセットされます。〉

保険金をお支払いする場合	旅行行程中の予期せぬ偶然な事故（※）により被保険者が旅行行程中に下記費用の負担を余儀なくされたとき ①交通費 ②宿泊施設の客室料 ③食事代（注1） ④国際電話料など通信費 ⑤旅券印紙代、査証料、予防接種料などの渡航手続費 ⑥渡航先で予定していたサービスの取消料など ⑦身の回り品購入費（注2） （※）公的機関、交通機関、宿泊機関、医療機関、旅行業者（ツアーオペレーターを含む）によって、事故の発生が証明されるもの 注1 食事代については、a.またはb.のいずれかに該当した場合に限りお支払いします。 a.搭乗予定の航空機について6時間以上の出発遅延、欠航・運休、航空運送事業者の搭乗予約受付業務の不備による搭乗不能または搭乗していた航空機の着陸地変更により、6時間以内（※）に代替となる他の航空機を利用できないとき （※）着陸地変更の場合は、着陸時刻から6時間以内を指します。 b.航空機を乗り継ぐ場合で、搭乗していた到着機の遅延により乗継予定だった出発機に搭乗できず、搭乗していた到着機の到着時刻から6時間以内に出発機の代替となる他の航空機を利用できないとき 注2 身の回り品購入費については以下の費用に限りお支払いします。 旅行行程中に携行する身の回り品で航空機（定期航空運送事業者が路線を定めて運行する航空機に限ります。）の搭乗時に航空会社に運搬を寄託した手荷物が、航空機が目的地に到着後6時間以内にその目的地に運搬されなかったために、航空機がその目的地に到着してから96時間以内に負担した費用
お支払いする保険金	実際に支出した上記の費用のうち社会通念上妥当と認められる金額または、同等の事故に対して通常負担する費用に相当する金額をお支払いします。ただし、払い戻しを受けた額、負担することを予定していた金額などを除きます。 （※）費用の発生または拡大を防止するために必要・有益な費用などに対しても保険金をお支払いできる場合があります。 注 お支払いする保険金は、保険期間を通じて上記①～⑥の合計で旅行事故緊急費用保険金額が限度となります。ただし、③食事代については旅行事故緊急費用保険金額の10%が保険期間中の限度となります。また、⑦身の回り品購入費については、別途、旅行事故緊急費用保険金額の2倍を保険期間中の限度とします。
保険金をお支払いできない主な場合	次のような事由により生じた費用 ◎保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき者の故意もしくは重大な過失または法令違反 ◎被保険者の自殺行為、犯罪行為または闘争行為 ◎被保険者による自動車などの酒気帯び運転、無資格運転中の事故 ◎むちうち症、腰痛その他の症状で医学的他覚所見のないもの ◎妊娠、出産、早産、流産およびこれらに基づく病気 ◎歯科疾病 ◎乗客として搭乗（予定）の運行時刻が定められていない交通機関の遅延または欠航・運休 ◎地震もしくは噴火またはこれらによる津波 ◎戦争、革命などの事変 ◎放射線照射、放射能汚染 …など

航空機寄託手荷物遅延〈保険期間32日以上のご契約タイプにセットされます。〉

保険金をお支払いする場合	旅行行程中に携行する身の回り品で航空機（定期航空運送事業者が路線を定めて運行する航空機に限ります。）の搭乗時に航空会社に運搬を寄託した手荷物が、航空機が目的地に到着後6時間以内にその目的地に運搬されなかったとき
お支払いする保険金	航空機到着後96時間以内に被保険者が目的地において負担した必要不可欠な衣類、生活必需品、身の回り品の購入費（貸与を受けたときの費用を含みます。）を、1回の寄託手荷物遅延につき10万円を限度としてお支払いします。 ただし、寄託手荷物が被保険者のもとに到着した時以降に購入しまたは貸与を受けたことによる費用を除きます。
保険金をお支払いできない主な場合	次のような事由により生じた費用 ◎保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき者の故意もしくは重大な過失または法令違反 ◎地震もしくは噴火またはこれらによる津波 ◎戦争、革命などの事変 ◎放射線照射、放射能汚染 …など

航空機遅延費用〈保険期間32日以上のご契約タイプにセットされます。〉

保険金をお支払いする場合	**〈出発遅延等〉**搭乗予定の航空機について以下の事由が生じ、出発予定時刻から6時間以内に代替となる他の航空機を利用できないとき ◎6時間以上の出発遅延 ◎欠航・運休 ◎航空運送事業者の搭乗予約受付業務の不備による搭乗不能 ◎搭乗していた航空機の着陸地変更により、着陸時刻から6時間以内に代替となる他の航空機を利用できないとき **〈乗継遅延〉**航空機を乗り継ぐ場合で、搭乗していた到着機の遅延により乗継の予定だった出発機に搭乗できず、搭乗していた到着機の到着時刻から6時間以内に出発機の代替となる他の航空機を利用できないとき
お支払いする保険金	**〈出発遅延費用等・乗継遅延費用〉** 出発地（または乗継地・着陸地）において、代替となる他の航空機が利用可能となるまでの間に被保険者が負担したホテルなど客室料、食事代、ホテルなどへの移動に要するタクシー代などの交通費、航空機の代替となる他の交通手段を利用した場合の費用、国際電話料など通信費、目的地における旅行サービスの取消料などをお支払いします。ただし、1回の出発遅延等または乗継遅延につき、2万円をお支払いの限度とします。
保険金をお支払いできない主な場合	次のような事由により生じた費用 ◎保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき者の故意もしくは重大な過失または法令違反 ◎地震もしくは噴火またはこれらによる津波 ◎戦争、革命などの事変 ◎放射線照射、放射能汚染 …など

「海外旅行保険」をご契約いただくお客さまへ

必ずお読みください

⚠印を記載した項目はお客さまにとって特に重要な情報ですので、ご注意ください。ご質問・ご相談などのお問合せ先につきましては、17ページにてご確認ください。

契約概要のご説明

この「契約概要」は、ご契約に際して特にご確認いただきたい事項を記載しています。ご契約前に必ずお読みいただいたうえでお申し込みください。
またこの説明書は、ご契約に関するすべての内容を記載しているものではありません。詳細につきましては、保険の約款・ご契約のしおりにてご確認ください。ご不明な点については、AIU・シティカードジャパン旅行保険デスクまでお問い合わせください。

1. 商品の仕組み

この商品は、海外旅行保険の旅行行程中（注1）に被保険者（保険の対象となる方、以下「被保険者」といいます。）がケガをしたときや病気になったときなどを主に補償する保険です。各補償内容など詳細につきましては「2.補償の内容」にてご確認ください。

主な補償項目＼事由	ケガによる 死亡	ケガによる 後遺障害	ケガによる 入院・通院	病気による 入院・通院	病気による 死亡
傷害死亡	○	×	×	×	×
傷害後遺障害	×	○	×	×	×
治療・救援費用	×	×	○	○	×
疾病死亡	×	×	×	×	○

○：補償対象です。 ×：補償対象ではありません。

（注1）
「旅行行程中」とは、保険証券（契約証）記載の被保険者がご契約の海外旅行の目的をもって、住居を出発してから住居に帰着するまでをいいます。なお、保険期間（保険のご契約期間、以下「保険期間」といいます。）が旅行期間と異なる場合、「旅行行程中」を「保険期間と旅行期間が重なる間」と読みかえます。

2. 補償の内容

（1）保険金をお支払いする主な場合

ご契約タイプによって、セットされる特約やご契約の内容が異なります。ここでは主な補償項目についてご案内いたします。詳細やその他の補償項目につきましては、保険の約款、ご契約のしおりまたはパンフレットにてご確認ください。

①傷害死亡	旅行行程中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガが原因で、事故の日からその日を含めて180日以内に死亡した場合
②傷害後遺障害	旅行行程中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガが原因で、事故の日からその日を含めて180日以内に身体に後遺障害が生じた場合
③治療・救援費用	旅行行程中にケガや病気で治療を受け（旅行行程終了後72時間以内に病気の治療を開始した場合を含みます。）治療費を負担した場合や、3日以上入院または搭乗中の飛行機が遭難し、日本から親族（その代理人を含みます。）が現地に行く場合など
④疾病死亡	旅行行程中に病気が原因で死亡した場合（旅行行程終了後72時間以内に治療を開始し、旅行行程終了日を含めて30日以内に死亡した場合を含みます。）

⚠（2）保険金をお支払いできない主な場合

海外旅行保険普通保険約款および前記で補償内容をご案内した補償項目に関する主なお支払いできない場合を記載しています。詳細やその他の補償項目については保険の約款、ご契約のしおりまたはパンフレットにてご確認ください。

①保険契約者、被保険者または保険金受取人の故意または重大な過失（損害賠償責任を補償する特約においては「故意」のみ）
②自殺行為、犯罪行為または闘争行為
③被保険者による自動車などの無資格運転、酒気帯び運転中の事故
④戦争、革命などの事変
⑤放射線照射、放射能汚染
⑥頸部症候群（むちうち症）、腰痛その他の症状で医学的他覚所見のないもの
⑦旅行出発前の既往症または持病による治療費など
⑧カイロプラクティック、鍼（はり）または灸（きゅう）による治療
⑨事故が生じたときまたは弊社が保険金を支払うべきときに、保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき者がテロリストなどに該当するとき
（注）テロリストなどとは、米国財務省外国資産管理室（Office of Foreign Assets Control）が制裁対象としてリスト（http://www.treas.gov/offices/enforcement/ofac/sdn/t11sdn.pdf）に掲載している、テロリスト、テロリスト組織に属する者、麻薬密売人または核兵器、化学兵器、生物兵器を製造もしくは拡散する者などをいいます。
⑩弊社が告知を求めた渡航先において生じた事故であるとき。保険契約を結ぶ際にその渡航先への渡航の予定がなかった場合など、いかなる場合においても、同様となります。
…など

重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）

3. 特約およびその概要

ご契約にセットされている特約について、特にご注意いただきたい点を記載しています。
詳細およびその他の特約については保険の約款、ご契約のしおりまたはパンフレットにてご確認ください。

⚠ ＜「疾病に関する応急治療・救援費用補償特約」に関するご注意＞

保険期間が31日までのご契約で「疾病に関する応急治療・救援費用補償特約」がセットされている場合、「2.補償の内容（2）保険金をお支払いできない主な場合」に関わらず、「ご旅行前の病気に対する応急治療」を所定の金額を限度に補償します。また、この特約がセットされる保険契約の保険期間は、延長分も含め最長31日までです。31日超の保険期間に延長する場合、31日を超える期間については、この特約はセットされません。

⚠ ＜「緊急歯科治療費用補償特約」および「旅行事故緊急費用補償特約」に関するご注意＞

「緊急歯科治療費用補償特約」、「旅行事故緊急費用補償特約」がセットされている保険契約の保険期間は、延長分も含め最長31日までです。31日超の保険期間に延長する場合、31日を超える期間については、これらの特約はセットされません。

※延長手続きについては「その他のご注意」の「2.ご契約後にご注意いただきたいこと」にてご確認ください。

4. 保険期間

保険期間は、海外旅行のために住居を出発してから住居に帰られるまでの「旅行期間」にあわせて設定してください。（なお、保険期間内でも、住居に帰られた時に保険は終了します。）実際にご契約いただくお客さまの保険期間につきましては、申込書にてご確認ください。なお、満期日の管理とご継続の手続きは、保険契約者ご自身で行っていただくことが原則となりますので、ご留意ください。

5. 引受条件（保険金額など）

（1）ご加入プランをお選びいただく際には、必要な補償額に見合った無理のないプランをお選びください。既にこの保険と同一の補償内容を提供する他の保険契約などをお持ちの方は、両方の保険金額を合計してご勘案ください。（年令、健康状態、お仕事内容、保険金額の自社他社合算の合計額、渡航先（注）、旅行目的、その他の事由からご希望のプランのお引受けができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。）
（注）「キューバ」が渡航先に含まれる場合にはお引き受けできませんので、あらかじめご了承ください。
（2）保険契約者と被保険者が異なり被保険者の同意の署名が無い場合、または被保険者が旅行出発日時点で満15才未満の場合は、同一の補償内容を提供する他の保険契約や共済とそれぞれ合算して傷害死亡保険金額、疾病死亡保険金額は、1,000万円（旅行目的が留学、学校旅行の場合は3,000万円）を上限とさせていただきます。

6. 保険料

保険料は、ご契約金額、保険期間、ご年令などによって決定されます。また、実際にご契約いただくお客さまの保険料につきましては、申込書に記載されたものになりますので必ずご確認ください。なお、見込被保険者数に基づいて、暫定保険料を払い込みいただいている契約の場合、保険期間終了後に、確定保険料との間で精算が必要となります。差額保険料を追加で請求または返還する場合がありますので、ご了承ください。

7. 保険料の払込み

保険料はご契約およびご契約内容の変更と同時に全額払い込みください。（一時払）

8. 満期返れい金および配当金

「海外旅行保険」には、満期返れい金および契約者配当金はありません。

⚠9. 解約時の返還保険料の有無

ご契約を解約される場合は、取扱代理店または弊社にご連絡ください。
なお、解約に際しては、解約時の条件により、ご契約の保険期間のうち、残っている保険期間の保険料を解約時の返還保険料としてお支払いする場合があります。
なお、ご契約者から書面による通知をいただいた日を、解約日とします。
計算式：（返還保険料）＝（契約時払込保険料）－（原保険期間開始日から解約日までの保険期間に相当する保険料）

注意喚起情報のご説明

この「注意喚起情報」は、ご契約に際してご契約者にとって不利益になる事項など、特にご注意いただきたい事項を記載しています。ご契約前に必ずお読みいただいたうえでお申し込みください。
また、この説明書は、ご契約に関するすべての内容を記載しているものではありません。ご不明な点につきましては、取扱代理店または弊社までお問い合せください。

1. クーリングオフ（ご契約申込みの撤回）

保険期間が1年を超えるご契約の場合、ご契約の申込後であってもお申込みの撤回またはご契約の解除（クーリングオフ）を行うことができます。
なお、保険期間が1年以下のご契約、法人または法人ではない社団・財団などが締結されたご契約などはクーリングオフはできませんので、ご注意ください。詳しくは海外旅行保険・ご契約のしおり（保険小冊子）内に記載のクーリングオフについての説明をご参照ください。

⚠2. 告知義務など

（1）告知義務
①ご契約者や被保険者には、保険契約の締結に際し、保険会社が契約上重要であるとして回答を求めた事項（告知事項）に対し、事実を正確にご回答いただく義務（告知義務）があります。
ア．ご契約のお申込みにあたっては、年令、旅行先、現在の健康状態、過去の傷病歴、身体の障害状態、他の傷害保険契約（注）、過去における保険金請求・受領の有無、旅行行程中の職作業または危険な運動の有無などの告知事項について書面でおたずねし、これらの内容に基づいてご契約をお引き受けできるかどうか判断させていただいております。
イ．他のご契約者との公平性を保つため、健康状態やお仕事の内容などによっては、新規・継続にかかわらず、ご契約をお断りさせていただくことがあります。
ウ．他の傷害保険契約（注）については、「多重契約による保険金詐欺防止」のためにおたずねするものです。
（注）「他の傷害保険契約」とは、他の海外旅行保険、普通傷害保険、家族傷害保険、交通事故傷害保険などの傷害保険および同一の補償内容を提供する共済をいいます。
②故意または重大な過失によって、事実を告知されなかったり、事実と違うことを告知された場合には「告知義務違反」としてご契約を解除させていただくことがあります。また、保険金などをお支払いできないことがあります。
③上記告知事項につきましては、取扱代理店または弊社にご連絡ください。（弊社の損害保険募集人は保険契約締結の代理権を有しており、告知の受領権も有しています。）

（2）通知義務＜保険契約の締結後に、弊社が告知を求めた事項に変更が生じた場合にご連絡いただく義務＞
ご契約後、被保険者（保険の対象となる方）が保険期間中に行う職務を変更されるときは、遅滞なく取扱代理店または弊社にご連絡ください。また、下記のような職務に変更となる場合には、ご契約を解除させていただくことがあります。詳細は取扱代理店または弊社までお問い合せください。
・プロボクサー、プロレスラー、力士、その他これらと同程度またはそれ以上の身体・生命の危険度の高い職務

3. 責任開始日

（1）保険責任は保険証券（契約証）に記載された保険期間の初日の午前0時以降で、海外旅行の目的をもって住居を出発してから開始します。
（2）保険料はご契約およびご契約内容の変更と同時に払い込みください。保険期間が始まった後であっても、取扱代理店または弊社が保険料を領収する前に生じた事故によるケガ・病気などに対しては保険金をお支払いできません。

⚠4. 保険金をお支払いできない主な場合（免責事由）

保険金をお支払いできない主な場合については、以下をご確認ください。
●「契約概要のご説明2.補償の内容（2）保険金をお支払いできない主な場合」
●「注意喚起情報のご説明2.告知義務など（1）告知義務、（2）通知義務」
●「その他ご注意2.ご契約後にご注意いただきたいこと（5）重大な事由による解除」

⚠5. 解約時の返還保険料

解約時の返還保険料の有無などについては、前記の「契約概要のご説明9.解約時の返還保険料の有無」にてご確認ください。

6. 保険会社破綻時の取扱い

（1）保険契約を引き受けている損害保険会社の経営が破綻した場合には、保険金の支払いや返還保険料などの支払いが一定期間凍結されたり、金額が削減されることがあります。
（2）損害保険会社の経営が破綻した場合に備えた保険契約者保護の仕組みとして、「損害保険契約者保護機構」があります。この保険は「損害保険契約者保護機構」の補償対象種目であり、保険金、返還保険料などは原則として80%（破綻保険会社の支払停止から3か月間が経過するまでに発生した保険事故に係る保険金については100%）まで補償されます。
なお、損害保険会社が破産手続き開始の決定を受けた場合でも、その決定を受けた日から3か月までは、保険契約を解約することができます。

7. 個人情報の取扱い

（1）個人情報の利用目的
弊社はこのご契約に関する個人情報を以下の目的のため利用します。
①各種保険契約のお引受け、ご継続・維持管理、保険金・給付金などのお支払い
②関連会社・提携会社を含む各種商品やサービスのご案内・提供、ご契約の維持管理
③弊社業務に関する情報提供・運営管理、商品・サービスの充実
④その他保険に関連・付随する業務
（2）個人情報の提供
あらかじめご本人が同意されている場合のほか、次の場合にご本人の個人情報を外部に提供することがあります。
①利用目的の達成に必要な範囲内において、業務を外部（弊社代理店を含みます。）へ委託する場合
②再保険（再々保険以降の出再を含みます。）のため、再保険を取り扱う他の会社に提供する場合
③ご本人の保険契約内容を保険業界において設置運営する制度に登録するなど、保険制度の健全な運営に必要と考えられる場合
④事故発生の際、この保険契約および保険金請求に関する事項について損害保険会社などの間で確認する場合（同一の損害または費用に対して他の保険契約などがあり、損害保険会社などに求償するために確認する場合を含みます。）
⑤保険金のお支払いのために必要な範囲において、保険事故の関係者（当事者、医療機関、修理業者など）に提供する場合
⑥その他法令に根拠がある場合
（3）個人情報の取扱いに関するお問合せ先

AIUお問合せ窓口：電話 0120-336-112（通話料無料）
（受付時間：土・日・祝日・年末年始を除く　午前9時～午後5時）
弊社の個人情報の取扱い（プライバシーポリシー）の詳細は、弊社ホームページをご覧ください。
（URL：http://www.aiu.co.jp）

その他のご注意

1. お電話でお申し込みの際、ご注意いただきたいこと

(1) お電話でお申し込みをされる前に、下記ポイントにご注意ください。
ご申告いただいている内容に間違いはありませんか。
①知っている事実を申告されなかったり、または事実と異なることを申告されていませんか。
②死亡保険金受取人を指定し、他人を被保険者とする契約を結ぶときは、必ず被保険者の同意を得てください。同意を得ないで他人を被保険者とする保険契約を結んだときは、保険契約は無効となります。ただし、死亡保険金受取人が被保険者の法定相続人である場合を除きます。

(2) 保険料は、ご契約と同時に払い込みください。
保険契約では、保険会社（代理店）が保険料を領収してはじめて保険金お支払いの責任を負うことになっていますので、保険料は必ずご契約と同時に払い込みください。

(3) 被保険者の年令や告知内容により、前契約と同じ条件でご契約を継続できない場合があります。

(4) ピッケルなどの登山用具を使用する登山、スカイダイビング、ハンググライダー搭乗などの危険なスポーツを行う場合または危険な職業に従事する場合は原則としてお引き受けできません。お引き受けできる場合でも割増保険料が必要です。割増保険料を払い込みいただいていない場合は保険金が削減される場合があります。

(5) お申し込み時に日本国外で永住権を持って居住している方は、保険のお引受けはできません。また、お申込み時に既に海外へ渡航されている方や、海外からのお申込みの場合も、保険のお引受けはできません。

(6) ご契約者と被保険者が異なる場合は、保険の約款およびこの説明書の内容を被保険者にご説明ください。

2. ご契約後にご注意いただきたいこと

(1) 保険証券（契約証）の保管
保険証券（契約証）は、保険契約の内容を記載している重要な書類です。保険証券（契約証）の表示内容および保険の約款をご確認のうえ、大切に保管してください。

(2) 保険契約者の住所変更
ご契約後、保険契約者が住所または通知先を変更したときは、ただちに取扱代理店または弊社にご連絡ください。重要なお知らせがお届けできない場合がありますので、ご協力をお願いします。

(3) 旅行日程の変更の場合の保険期間延長手続きについて
ご旅行中に、旅行日程の変更などで保険期間の延長をご希望の場合には、満期前に被保険者本人の委任を受けた日本における代理の方（ご家族・知人など）を介して、ご契約された取扱代理店または弊社にてお申し込みください。満期後に延長のお手続きはできませんのでご注意ください。また、ご契約の内容などによっては保険期間の延長のお申出をお受けできないことがあります。

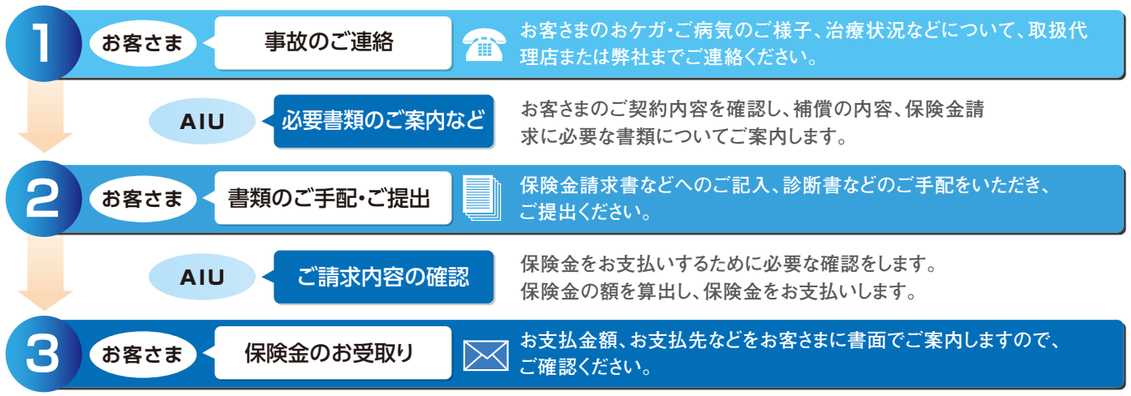
(4) 被保険者からの解約請求
被保険者がご契約者以外である契約について、被保険者となることに同意していなかったなどの場合は、ご契約者に対してこの被保険者の部分に限り保険契約の解除を求めることができます。詳細については、取扱代理店または弊社までお問い合せください。また、本内容については、ご契約者から被保険者全員にお知らせください。

(5) 重大な事由による解除
次のいずれかに該当する事由がある場合には、ご契約および特約を解除することがあります。
①多重契約により被保険者（保険の対象となる方）の保険金額（ご契約金額）が著しく過大になる場合
②保険契約者、被保険者または保険金受取人が、保険金を支払わせる目的で事故などを起こした場合
③保険契約者、被保険者または保険金受取人が、暴力団関係者、その他反社会的勢力に該当すると認められた場合
④被保険者または保険金受取人が保険金の請求について詐欺を行った場合　など
なお、この場合には、全部または一部の保険金をお支払いできません。また、既に保険金をお支払いしていた場合には、その保険金を返還していただくことがあります。

(6) その他
①ご契約の約款は日本国の法律に準拠します。
②ご契約について係争が生じた場合は、日本国内における裁判所に提起するものとします。

3. 事故が起きた場合

(1) 保険金のお支払いの流れ（事故の内容や状況などによっては、異なった流れとなる場合もあります。）



(2) 事故のご連絡
万一、事故が起きた場合には、事故の発生の日から30日以内に取扱代理店または弊社事故受付センターなどにご連絡いただき、その後の手続きについてご相談ください。なお、その損害が拡大しないように適切な処置を行ってください。また、被害者との間で賠償額を決定（示談）される場合には、必ず事前にご連絡ください。正当な理由がなくご通知がない場合、それによって弊社が被った損害の額を差し引いて保険金をお支払いすることがあります。

(3) 弊社に相談いただきたいこと
損害賠償責任を補償する保険金（特約）に関する事故の場合、損害賠償責任の全部または一部を被害者に対して承認しようとするときには、必ず事前に弊社へご通知いただき承認を得てください。その際に、弊社は、被害者との示談、調停などの法律行為を行うことはできませんが、被害者からの損害賠償請求に対して、その解決にあたるための助言、協力を行うことができます。弊社の承認がないまま被害者に対して損害賠償金額の全部または一部を承認された場合には、保険金を削減してお支払いすることがあります。

(4) 保険金のご請求とお支払いについて
①保険金のご請求に必要な主な書類は次のとおりです。（お支払する保険金の種類や事故の内容または損害の額などにより異なります。また、保険金のご請求内容により、ご提出いただく書類の一部の省略が可能な場合があります。詳細については、事故のご報告をいただいた後にご案内させていただきます。）
なお、弊社が行う調査へのご協力をお願いする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

海外旅行保険　保険金請求書類

		保険金の請求に必要となる書類
各保険金共通	保険金の請求書など	・海外旅行保険　保険金請求書兼同意書（海外旅行保険・ご契約のしおり（保険小冊子）に封入されています。弊社ホームページからもダウンロードしていただけます。） ・保険証券（契約証）、印鑑証明書（保険金受取人、相続人、代理人など） ・パスポート（写し）、被保険者の渡航期間・渡航国・渡航目的などを確認できる契約者備付の帳簿（包括契約の場合）、医療情報、個人情報にかかわる調査の同意書　など
	事故の発生状況や、保険金のお支払いの対象となる事故であることなどを確認する書類	・事故の種類や発生場所ごとに、公の機関（やむを得ない場合は第三者）の発行する証明書（交通事故証明書、盗難・焼失など公的機関が発行する証明書、遅延/欠航証明書など） ・免許証などの資格証明書　など
	保険金請求者が被保険者であることを証明する書類	・住民票、健康保険証、戸籍謄本　など
	法定相続人を確認する書類	・法定相続権者からの委任状、戸籍謄本、印鑑証明書　など
	保険金の代理請求を確認する書類	・代理請求者の資格確認書類（戸籍謄本、印鑑証明書 など）
死亡を確認する書類		・死亡診断書または死体検案書、被保険者の戸籍謄本　など
後遺障害の程度を確認する書類		・後遺障害診断書、検査資料（画像・病理等の臨床検査記録）　など
治療費用・投薬等の金額および入院・通院などの状況・診療内容を確認する書類		・診断書、診療報酬明細書、治療費用・処方箋代や薬代等の領収書やレシート　など
賠償責任補償に関する確認書類		・修理見積書、被害品のリスト、損傷個所の写真、その他法律上の損害賠償責任を確認できる書類 ・示談書および損害賠償金の支払いまたは損害賠償請求権者の承諾があったことを確認する書類 ・賃貸業者からの賃貸契約書または賃貸契約領収書　など
携行品や留守宅の家財などの損害および損害の額を確認する書類		・被害品のリスト ・修理見積書、損傷個所の写真 ・修理不能証明書（修理業者発行）（修理が不可能な場合） ・損害品を購入（取得）したときの領収書、保証書、取扱説明書 ・被害が生じた物の所有を確認できる書類　など
航空機や寄託手荷物の遅延によって生じた費用の確認書類		・ホテル等客室料、食事代、交通費および国際電話料等の通信費などの領収書 ・旅行サービスについて、取消料、違約料、旅行業務取扱料その他名目において、旅行サービス提供・手配機関との契約上払戻しを受けられない費用またはこれから支払うことを要する費用の領収書 ・寄託手荷物である下着、洗面用具等の必需品の購入または貸与を受けたときの費用の領収書　など
救援者費用の確認書類		・捜索救助費用の領収書や支払証明 ・航空運賃等交通費、救援者の現地までの船舶、航空機等の往復運賃の領収書 ・宿泊施設の客室料、現地および現地までの行程における救援者の宿泊施設の客室料の領収書 ・遺体輸送費用または転院などのための移転費 ・死亡した被保険者の火葬費用、遺体防腐処理費用等の遺体の処理費用の領収書 ・諸雑費、救援者の渡航手続費ならびに救援者または被保険者が現地において支出した交通費、被保険者の入院もしくは救援に必要な身の回り品購入費および国際電話料等通信費等の領収書 ・旅券印紙代、査証料、予防接種料等の領収書　など

②弊社が求めた必要書類が揃った日（請求完了日）からその日を含めて30日以内に、ケガ・病気の程度や保険金のお支払い対象となる事故か否かなど、保険金のお支払いに必要な確認を終え、保険金をお支払いします。ただし、次の場合は30日を超える場合がありますので、その場合は別途ご案内します。
ア. 医療機関などの専門的な判断、後遺障害の認定、公的機関の調査結果など、外部の判断が必要な場合
イ. 保険金のお支払いに必要な調査に対し、妨害などがあった場合　など
③損害賠償責任を補償する特約においては、被害者（事故の相手方）に先取特権（被保険者に他の債権者がいる場合であっても、被害者が保険金から優先的に賠償金の支払いを受けられる権利）があります。
④他に同様の補償をする保険契約などがある場合のお支払方法
他に同一の事故に対して補償を受けられる保険契約や共済がある場合でも、弊社は独立して保険金をお支払いします。ただし、弊社が保険金をお支払いする前に他の保険契約（共済を含みます。）により保険金などが支払われるときは、その金額を損害・費用の額から差し引いて保険金をお支払いします。
万一、他の保険契約および弊社より重複して同一の補償を受けた場合には、弊社が支払った保険金を返還していただくことがあります。

(5) 保険金ご請求の期限（時効）
保険金請求権には時効（3年）がありますので、ご注意ください。

重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）

4. 共同保険契約

複数の保険会社による共同保険契約を締結される場合は、幹事保険会社が他の引受保険会社の業務・事務の代理・代行を行います。引受保険会社は、各々の保険金額または引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。

5. お問合せ先

1.保険に関するお問合せ・ご相談・苦情 ○この重要事項説明書もしくは保険証券記載の取扱代理店または弊社営業部支店の電話番号までご連絡ください。 ○また、AIU・シティカードジャパン旅行保険デスクへお電話いただく際は右記までご連絡ください。	**AIU・シティカードジャパン旅行保険デスク** 電話 **0120-917-005**（通話料無料） 受付時間:午前10時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）
2.事故のご報告・保険金のご請求 この重要事項説明書もしくは保険証券記載の取扱代理店、または右記AIU事故受付センターまでご連絡ください。 （注）事故以外の各種お問合せは上記1.へお願いします。	**AIU事故受付専用ダイヤル** 電話 **0120-04-1799**（通話料無料） （受付時間:24時間365日）
3.弊社の契約する指定紛争解決機関 弊社との間で問題を解決できない場合には、法律に定められた指定紛争解決機関である一般社団法人保険オンブズマンに解決の申立てを行うことができます。 詳細は右記ホームページをご覧ください。	**保険オンブズマン** 電話 **03-5425-7963** （受付時間:午前9時～12時、午後1時～5時 土・日・祝日・年末年始を除く） ホームページ：http://www.hoken-ombs.or.jp

IP電話をご利用の場合、IP電話の設定により通話料無料の電話番号がご利用になれない場合があります。

海外旅行保険　ご契約内容確認事項（意向確認書）

本書面は、万一の事故の際に安心して保険をご利用いただくために、ご提案しました保険商品がご契約者のご希望に合致した内容であること、ご契約をする上で特に重要な事項の欄に正しくご記入されていることを確認していただくためのものです。
お手数ですが、以下の各項目について、再度ご確認ください。確認後のご提出は不要ですが、念のためお手元に保管ください。
なお、ご確認にあたりご不明な点や疑問点がございましたら、AIU・シティカードジャパン旅行保険デスクまでお問い合せください。

ご契約者にご確認いただく欄

（1）保険商品が以下の点でご契約者のご希望に合致した内容になっていることをご確認ください。
ご希望に合致していない場合は、AIU・シティカードジャパン旅行保険デスクまでお申し出ください。
- □保険金のお支払事由（主契約、セットしている特約を含みます。）
  ※お支払事由の詳細については重要事項説明書、パンフレットなどにてご確認ください。
- □保険金額（ご契約金額）
- □保険期間（保険のご契約期間。旅行期間に合わせて設定ください。）
- □保険料

（2）申込書の記載事項等につき、以下の点をご確認ください。万一、記入漏れ、記入誤りがあった場合は申込書の訂正が必要になりますので、AIU・シティカードジャパン旅行保険デスクまでお申し出ください。
- □申込書の告知事項「他の保険契約の告知欄」は正しくご記入いただいていますか?
- □被保険者（保険の対象となる方）の範囲についてご確認されましたか?（家族旅行特約セットの場合）
- □旅行中に従事する職務がある場合、AIU・シティカードジャパン旅行保険デスクにお申し出いただきましたか?
- □旅行中に危険な運動を行う場合、AIU・シティカードジャパン旅行保険デスクにお申し出いただきましたか?

C-000514　2015-08

用語のご説明

◆パンフレットの中でわからない用語などありましたら、こちらの用語説明集をご参照ください。

	用語	ご説明
い	医師	日本国外においては、被保険者が診察、治療または診断を受けた地および時における医師に相当する資格を有する者をいいます。また、被保険者が医師である場合は、被保険者以外の医師をいいます。
	医学的他覚所見	病気の症状が、医師により客観的に（理学的検査、神経学的検査、臨床検査、画像検査などにより）認められる異常所見をいいます。
し	傷害（ケガ）	急激かつ偶然な外来の事故（転倒、交通事故、運動中の打撲・骨折などの外的要因による事故）によって被った身体の傷害をいい、この傷害には、身体外部から有毒ガスまたは有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収または摂取したときに急激に生ずる中毒症状（注）を含みます。 （注）継続的に吸入、吸収または摂取した結果生ずる中毒症状を除きます。
	疾病（病気）	上記の傷害以外の身体の障害をいいます。ただし、妊娠、出産、早産および流産を除きます。
	宿泊施設	宿泊することを主たる目的とする施設で、主に次の施設をいいます。 ①企画旅行または手配旅行において手配された施設 ②ホテル、旅館、コンドミニアムまたはこれに類する施設 なお、アパートなどの主たる目的が賃貸の施設は含みません。
ほ	保険期間	保険会社が保険契約により補償の責任を負う期間のことです。ただし、保険期間中であっても保険料が払い込まれていない場合は、補償の対象となる事由が発生しても保険金は支払われません。
	保険金	補償の対象となる事由によって損害が生じた場合に、弊社がお支払いする金銭をいいます。
	保険金額	ご契約にあたり弊社とご契約者とで定める金額（ご契約金額）で、弊社がお支払いする保険金の限度額をいいます。
	保険料	ご契約の内容に基づいて、ご契約者から弊社へお払い込みいただく金銭をいいます。
り	旅行行程	保険証券記載の海外旅行の目的をもってご自宅を出発してからご自宅に帰着するまでの行程をいいます。